

0. 本レポートについて	p.03	3. 文化遺産オンライン登録の概要	
1. 本プロジェクトの概要		(1) 研修の概要	p.138
(1) 本事業の取組方針	p.05	(2) 登録作業の結果	p.140
(2) 業務遂行体制	p.07	4. 全体研修の概要	
(3) 全体スケジュール	p.08	(1) 実施概要	p.142
2. 現地調査・実地研修・撮影の概要 (11施設)		(2) 各講義概要	p.145
(1) 全施設共通事項	p.10	(3) ワークショップ概要	p.147
(2) 京都府立丹後郷土資料館	p.25	(4) 参加者およびアンケート結果	p.148
(3) 大山崎町歴史資料館	p.38	5. データ利活用プランの提言	
(4) 向日市文化資料館	p.48	(1) 利活用プラン検討の概要	p.160
(5) 与謝野町立江山文庫	p.59	(2) 利活用プラン案	p.161
(6) 与謝野町立古墳公園はにわ資料館	p.68	6. 次年度以降の方向性について	
(7) 舞鶴市立赤れんが博物館	p.77	(1) 本事業で見えてきた課題	p.165
(8) 舞鶴市郷土資料館	p.88	(2) 今後に向けた方向性	p.168
(9) 京都府立堂本印象美術館	p.99		
(10) 亀岡市文化資料館	p.111		
(11) 京丹後市立郷土資料館	p.121		
(12) 京丹後市立丹後古代の里資料館	p.123		

5. データ利活用プランの提言（1）利活用プラン検討の概要

本事業における各施設へのヒアリング・実施状況・資料の特色等を踏まえ、デジタルアーカイブ後のデータ利活用の方向性を下記図の категорияで分類した上で、具体的なプランを検討。



図 5 デジタルアーカイブ社会のイメージ

※令和5年9月 デジタルアーカイブジャパン推進委員会実務者検討委員会（事務局 内閣府知的財産戦略推進事務局）
『「デジタルアーカイブ活動」のためのガイドライン』p.14より抜粋

5. データ利活用プランの提言（2）利活用プラン案

利活用プラン案(1/3)

	施設名	カテゴリー	利活用の目的	利活用のプラン概要	参考事例
①	京都府立丹後郷土資料館	教育	京都府内の学生に対し郷土資料を用いて丹後地域への愛着を育むとともに、府外に向けても発信を行うことで知名度向上に貢献する。	海洋センター絵画資料等の地域デジタルアーカイブを用いたデジタルコンテンツを制作し、府内教育機関等での探求学習・生涯学習に資するプログラムを組成するとともに、府外についても類似資料との繋がりを可視化することで全国的に利用可能なコンテンツを実現する。	小学校授業での活用例：伊賀市内の資料と東京の隠れたつながりをデジタルコンテンツ上で可視化するとともに、調べ学習のアウトプットツールとしても活用。 https://www.dnp.co.jp/biz/column/detail/20172299_4969.html
②	大山崎町歴史資料館	防災／教育	江戸時代から残る古絵図（地図）のデータを活用し、淀川とともに発展してきた大山崎町ならではの洪水災害や伝承されるメッセージを活かした防災教育に活用する。	古絵図デジタルデータから高精細複製画を作成、地域の学校への出前授業やワークショップで活用し、児童が現代の地図と比較するデジタル教材を作成。地域の防災教育に活用するプログラムを組成する。	山形アーカイブ：山形大学附属博物館をはじめとする山形県内の史料保存機関や、山形大学の学生で組織する「まちの記憶を残し隊」が集めたまちの「記憶」を一堂に公開するデジタルアーカイブサイトを構築。 https://cherry.yum-archives.net/yamagata-archive/
③	向日市文化資料館	教育	長岡京や向日市の成り立ちに関する歴史を伝え、地域への興味関心・誇りを醸成する。	デジタルアーカイブを活用した向日市独自の検索性を持ったデジタルアーカイブサイトを、既存の収蔵品管理システムから構築。 GIGA端末で閲覧可能な調べ学習ツールとして機能すると共に、あらゆる市民に開かれた市のプラットフォームを目指す。	川崎市デジタルアーカイブ かわさき環境100年史：川崎市の環境に関する歴史を振り返り、小学生でも分かりやすいデジタルアーカイブ含むWebサイトを構築。 https://www.digital-archive-env.city.kawasaki.jp/
④	与謝野町立江山文庫	地域活性化／教育	与謝野町内および、全国に向けて俳句文化を発信し、俳句ファンを増加させる。	屏風等のデジタルアーカイブを活用し、与謝野町内学校授業において生徒がその内容からインスピレーションを得て俳句を詠む実践を行う。またその取組を進展させ、「デジタルアーカイブ×俳句」のコンテストを実施する。	文化創造デジタル作品コンクール：岐阜女子大学 文化創造学部の主催する、地域・学校・家庭でのデジタルアーカイブ活動を通して作成したデジタル作品の優秀作を決定するコンクール。 https://dagwu.com/bsc/

5. データ利活用プランの提言（2）利活用プラン案

利活用プラン案(2/3)

	施設名	カテゴリー	利活用の目的	利活用のプラン概要	参考事例
⑤	与謝野町立古墳公園はにわ資料館	地域活性化 ／観光	隣接する古墳復元公園での体験と結びつけ、「見えない歴史をその場で理解・体感できる観光資源」へ転換し、滞在時間と再訪率を高める。	展示室では「見どころ解説」をスマートフォンで見ながら鑑賞し、屋外古墳ではQRコードでデジタルアーカイブを用い詳細解説や、出土の様子、発掘の動画などを閲覧。また、時代背景や用途をストーリーと共にスタンプラリー化する。	百舌鳥・古市古墳群「デジタルスタンプラリーイベント」：古墳群の魅力と価値を伝えるため、アプリを活用した音声解説やナビ機能で古墳を周遊するデジタルスタンプラリーを実施。 https://www.pref.osaka.lg.jp/ho-do/fumin/o070080/prs_51176.html
⑥	舞鶴市立赤れんが博物館	地域活性化 ／観光	赤れんが博物館を起点に、舞鶴市内に分散する文化・歴史資源をデジタルでつなぐことで、来館者の理解を深めるとともに、市内周遊を促進し、地域活性化や観光地としての文化発信力を高める。	赤れんが博物館の他、引揚記念館、郷土資料館、公民館、学校等有している舞鶴市の文化的・歴史的資源である所蔵品をデジタル化し、市内の観光案内施設や博物館において情報を確認できるデジタル機器を整備することで、舞鶴市内観光における回遊性を高める。	東京都昭島市アキシマエンシス郷土資料室：地域の歴史年表や地図などにデジタルアーカイブした地域の文化財や史跡を紹介するタッチパネル式ディスプレイを設置、街歩きを促すQRコードで地図や詳細情報を提供。 https://www.dnp.co.jp/biz/case/detail/20173122_4968.html
⑦	舞鶴市郷土資料館	地域活性化	収蔵庫に保管された資料を多くの方に発信し、地域の魅力再発見につなげる。	市史編纂過程でデジタル化された収蔵庫資料を用い、Web上での企画展を定期実施。毎月発行されている「郷土資料館だより」と合わせ、資料館を拠点とした魅力発信を行う。	横浜開港資料館デジタルアーカイブ：定期的な職員が「PICK UP ARCHIVE」としてテーマごとのWeb企画展を実施。 https://yokohama-archives.jp/
⑧	京都府立堂本印象美術館	観光	デジタルアーカイブを用いたコンテンツを実施し、国内外からの来館者を増加させる。	堂本印象の絵画デジタルデータを用いた、ミュージアムグッズ制作コンテンツを行う。入賞した作品はミュージアムショップで販売することで、未訪問者に向けた来館動機を醸成する。	Rijksmuseum デジタルアーカイブを用いた創作コンテスト：公開されている作品画像を素材として使用し、新しいアート、デザイン、ファッションなどの作品が制作されている。 https://museumstudies.jp/2025/10/14/museum-digital-archive-rijksmuseum-smithsonian/

5. データ利活用プランの提言（2）利活用プラン案

利活用プラン案(3/3)

	施設名	カテゴリー	利活用の目的	利活用のプラン概要	参考事例
⑨	亀岡市文化資料館	教育	メタバースの活用方法を見直し、児童に他地域との交流を生み出すとともに、不登校児の郷土への興味関心を促進する。	既存のメタバース「KAMEOKA VIRTUAL HISTORIA」をGIGA端末上で稼働するよう改修した上で、メタバース上で資料を基に他地域との交流が生み出されるイベントを実施する。また、不登校児童に対しても発信を開始しオンライン上の居場所を提供。	東京都「バーチャル・ラーニング・プラットフォーム（VLP）」事業：東京都内の自治体において、不登校児童向け3Dメタバースを構築し、子どもたちが安心して学べる場づくりに活用。 https://www.dnp.co.jp/media/detail/20175498_1563.html
⑩	京丹後市立郷土資料館	教育・防災	丹後震災の写真・資料を通じて、地域で起きた災害を「過去の出来事」ではなく「自分事」として学ぶ機会を提供する。震災遺構と組み合わせ、次世代への防災意識の継承と地域の防災力向上を図る。	震災遺構の場所と関連する被災文化財や当時の写真のデータを紐づけたマップを作る。学校の防災学習や探究学習と連動させ、デジタル端末を使った事前学習と校外学習を行う。	3.11伝承ロードマップ：3.11伝承ロード推進機構が提供。被災地や伝承施設を地図上に示し、震災の広がりや教訓を可視化する。 https://www.311densho.or.jp/introduction/index.html
⑪	京丹後市立丹後古代の里資料館	地域活性化	地域住民の力で古文書を解読し、地域の新たな魅力を発見、地域活性化につなげる。	多くの古文書を地域住民を集めて解読していく。原本には触れることができないが、デジタルアーカイブを活用し、タブレット等でページを送りながら解読していくワークショップを実施。	愛知県公文書館バーチャル文書館：所蔵資料のデジタルアーカイブを活用し、古文書解読に挑戦することが可能。 https://kobunshokan.pref.aichi.jp/vr_archive/seminar/